

まち協・面談紹介
安心して暮らせる表佐に
せせえあい連絡会

表佐地区ささえあい連絡会は、いつまでも安心して表佐に暮らせるまちづくりを進める地域福祉活動を担う組織として、垂井町社会福祉協議会からの働きかけにより自治会長、民生委員、福祉推進員、近隣ボランティア等を構成員として平成20年12月に発足しました。

活動内容は、「声かけ・見守りパトロール」や「ちよっとサポート」「ふれあいサロンの開催」などで

以前から民生委員を中心に、一人暮らしの方との「つどい」を開催し、クイズをしたり会食をしたりしていましたので、活動の大きな柱に高齢者を主な対象とした「いきいきふれあいサロン」を月一回開催することとし、第1回目を平成21年4月23日に開催しました。

サロンは毎月第4木曜日午前10時～11時半迄、表佐地区まちづくりセンターを会場に開催しています。高齢者だけでなくどなたでも参加していただけますので、皆様是非サロンのぞいてみて下さい。

「家から出て参加することで楽しかった」、「一緒に帰る仲間ができて、話し相手が増えてきた」、「次回

は、お友達を誘って参加したい」などの声が聞かれ、笑顔が見られるようになったことが大変嬉しく思います。

運営にあたっては、連絡会のメンバーのほか、行事内容に応じてボランティアで参加していただける方もみえます。

一緒に活動していただける方、大歓迎です。

表佐ささえあい連絡会
会長 近藤光章

行事・講座・教室名		
実施日	時間	場所
ホタルの幼虫放流 カワナも採ります		
3月5日(土)	13:30~14:30	共栄ハリヨの池
園芸教室 家庭菜園を楽しむためのポイント 受講生募集中		
3月13日(日)	13:30~15:30	表佐まちセン
ダンボールコンポスト講習会 新規参加者には、資材1セット(ダンボール箱・基材・カバー)進呈。活用方法等、気軽に質問できます		
3月14日(月)	13:30~14:30	表佐まちセン
いきいきふれあいサロン 音楽療法で心身ともに若返り		
3月17日(木)	10:00~11:30	表佐まちセン
表佐まちづくり協議会臨時総会 事業計画、予算等の審議		
3月26日(土)	18:00~20:00	表佐まちセン
3・4月の行事・講座		
新型コロナウイルスの感染状況によって、延期・縮小・中止・開催方法変更の場合があります。その場合には、回覧やホームページ等でお知らせします。		
表佐まちづくり協議会総会 事業報告、決算、事業計画等の審議		
4月23日(木)	19:00~20:00	表佐まちセン
いきいきふれあいサロン 内容未定 後日回覧でお知らせします		
4月28日(土)	11:00~11:30	表佐まちセン

表佐まち協だより

まちさわ

2022年3月1日
表佐まちづくり協議会
垂井町表佐 1723-1
Tel・Fax22-1011
Mail:osakou@town.tarui.lg.jp
広報部会

中面は小学生の
がんばり特集



まち協ホームページQRコード

3・4月の休館日

3月	1日(火)	8日(火)	15日(火)	22日(火)	23日(水)	29日(火)
4月	5日(火)	12日(火)	19日(火)	26日(火)	30日(土)	



防炎ネットワークOSA
1月20日(木)
表佐まちセン

各世帯向けの防炎マニュアル作成について検討・意見交換しました

青少年健全育成にかかる標語看板の掲示
2月10日(木)
地区民会議役員の方々に表佐小学校北側フェンスに設置しました。(表面参照)

いきいきふれあいサロン
初笑い
1月27日(木)
表佐まちセン

お笑いヨガで、体を動かして、初笑いを楽しみました。

まち協短信
1月16日～2月15日

垂井町「第6波」非常事態宣言

1月20日(木)～3月6日(日)
新型コロナウイルス感染症の急増により、まちづくりセンターの利用時間が午後8時までとなり、会食も禁止となりました。ちさと子ども教室(1月22日(土)、1月29日(土)、青少年健全育成地区民大会(2月12日(土))など、多くの行事が中止となりました。



青少年健全育成とは

表佐地区青少年健全育成地区民会議
会長 桑原良樹

青少年はこれからの社会をつくっていく貴重な力です。その子どもたちが、健康やかに成長でき豊かな人間性を育むことを目的にしているのが、『青少年健全育成地区民会議』です。

この2年間、コロナ禍で計画した活動が十分に出来ませんでした。社会性や個性を育むのに不可欠な集団や人間関係がなくなってしまうと、子どもの生活空間が狭まり、子どもの社会的自立・発達などの人格形成に影響を与えかねません。もう一度原点に戻って、「次世代を担う子どもたちを育む表佐まちづくり」を推進してまいります。皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

健全育成とは、子ども自身の行為や行動、態度によって達成されるものではなく、育成される子どもに対して、大人や周囲の環境による働きかけを意味しています。近年、青少年の問題行動や青少年を巻き込んだ犯罪が多発しています。その背景としては、核家族化が進行し、少人数世帯が増加したこと、社会性や個性を育むのに不可欠な集団や人間関係がなくなってしまう、家庭や地域にける教育力の低下やその他の様々な問題が絡み合っていることが考えられます。親子関係や地域社会の人間関係がこれまでと変わってきている中で、青少年が健康やかに育つためには、家庭と学校、さらに、地域も加えた「社会全体の力」を結集していくことが欠かせません。社会全体が青少年を巻き込みながら、一体となっていくことが必要です。

表佐地区青少年健全育成地区民会議規約

第4条(活動)

1. 家庭、学校、社会等の連携を緊密にするための活動
2. 家庭の在り方を健全にするための活動
3. 青少年の団体及びグループ活動の育成とすべての青少年がこれに参加することを奨励するための活動
4. 社会環境の浄化を図るための活動
5. 青少年の非行防止のための活動
6. その他この会議の目的を達成するための活動

小学校6年生が作ってくれた標語が、小学校北側のフェンスに設置してあります。

親切や 思いやりから始まる 笑顔の世界
令和3年度 表佐小6年
表佐地区青少年健全育成地区民会議

勇気出し「仲間に入れて」 声かけた
令和3年度 表佐小6年
表佐地区青少年健全育成地区民会議

親切や 思いやりから始まる 笑顔の世界
令和3年度 表佐小6年
表佐地区青少年健全育成地区民会議

目を見てあいさつ 気持ちがいいね
令和3年度 表佐小6年
表佐地区青少年健全育成地区民会議

今できる 身近なことから 助け合い
令和3年度 表佐小6年
表佐地区青少年健全育成地区民会議

あいさつは きらきら輝く 魔法の言葉
令和3年度 表佐小6年
表佐地区青少年健全育成地区民会議

ハリヨっ子

東日本大震災、11回目の3月11日を迎えます。「絆」という言葉が、「家族の絆」という形で使われていたのが、「地域や住民との結びつき」として使われるようになりました▼「コロナ」が私たちの生活をおびやかしながら、2年がたちますが、まだまだ人と会って話したり、会食したりすることが制限されています。改めて私達は人と会うこと、つながることがいかに大切なのかを痛感させられています▼「絆」ほど強い結びつきでなくてもいい、ゆるやかでも人につながっていたいという気持ちは誰しもあるのではないのでしょうか▼同級生と会えばすぐにあの頃に帰ることが出来ます。会えなくてもつながっているのだからと思います▼表佐に住んでいたというだけで、つながりを感じられたいですね。

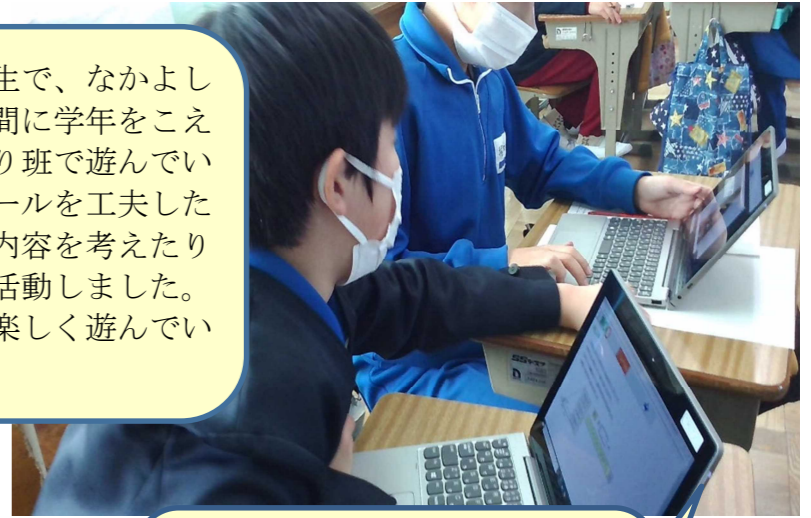
つながりを大切にする 表佐小学校



【伝統づくり委員会と4年生が表佐太鼓踊りを学んでいます】
今年度から、委員会だけでなく4年生の総合的な学習の時間に、地域の指導者の方から、表佐太鼓踊りを教えていただいています。
はじめは、なかなかリズムを覚えることができなかつたのですが、教えていただくうちに、太鼓を叩くことが楽しくなりました。



朝から伝統づくり委員会を中心に、挨拶運動をしています。先生にも進んであいさつする子が増えてきて、表佐小学校の自慢です。



1～6年生で、なかよし遊びの時間に学年をこえて、縦割り班で遊んでいます。ルールを工夫したり、遊ぶ内容を考えたりしながら活動しました。みんなで楽しく遊んでいます。

一人1台のタブレットを使って、学び合いをしています。分からないことを調べたり、デジタル教科書で写真を拡大したりしながら学んでいます。

【アルミ缶をあゆみの家に送っています】

毎週火曜日に、全校のみんなが自宅からアルミ缶を集め、垂井町栗原にあるあゆみの家にお届けしています。
あゆみの家では、そこで働いている人たちがアルミ缶をつぶすお仕事をされています。毎週校内放送でアルミ缶集めを呼びかけています。たくさんの人たちが協力してくれるおかげで、あゆみの家にたくさん送ることができます。コロナ禍であゆみの家の皆さんとの交流はできませんでしたが、日々の活動が地域の方に役に立っていると思うととてもうれしいです。



休み時間に、ボランティアの子達が校長先生と一緒に廊下や階段を掃除しています。きれいになってとてもうれしいです。



試合で応援したり団体戦で作戦会議をするのが楽しかったです。けいこでバランスボールの上に乗って竹刀を振るのも楽しかったです。冬は寒さで足が冷たかったり、



表佐剣道スポーツ少年団

キャプテン 古澤颯菜

僕は2年生から剣道を始めました。6年生になるまで同じ学年の子がいませんでした。
はじめは寂しかったけど、相手になつてもらったりして一緒にけいこをするうちにすぐに友達になれました。



厳しいけれどこの時もありました。でも諦めずに続けることができましたのは、先生や家族、仲間のおかげです。試合で負けたときに励ましてくれた友達や次に向けてアドバイスして下さった先生方に感謝を伝えたいです。



僕は剣道を通じて礼儀や、コツコツ積み上げて頑張ることの大切さを学びました。中学校生活でも剣道で学んだことを生かしていきたいです。



表佐野球少年団

キャプテン 多和田一輝

そんな中でも、団員の仲間や友人たちなど多くの人たちに支えられて活動ができたことを実感できた年でもありました。団員数が少なく、試合の時に助っ人として駆けつけてくれたときはうれしかったです。



6年生最後の垂井町大会では、試合の途中でねんざをしてしまい、最後まで出られず交代となり、とても



悔しい思いをしました。皆が最後まで頑張ってくれました。後輩が成長していると実感しました。少年団の活動で、たくさんの楽しい経験や悔しい経験もしました。今年は、よい成績は残せませんが、キャプテンとして、ピッチャーとして試合で全力を出すことができました。
最後に監督、指導者、活動を支えてくれていた皆様へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございます。

